



建物概要

所在地	福岡県糟屋郡篠栗町
建物用途	事務所
新築/既存	新築
建物構造	地上4階 CLT+S造
延床面積	6,990m ²
竣工年月	2022年12月
LPガス設備	排熱投入型吸収冷温水機 GHP、コージェネレーションシステム

『ZEB』

Nearly ZEB

ZEB Ready

ZEB Oriented

エネルギー消費性能
BEI 0.23

ZEB化の取り組み

①基本理念を象徴した建築物計画

- ◆エコーブの基本理念「ともに生き、ともに作る、くらしと地域」を象徴し、省エネ・創エネ・脱炭素を実現する建築物として計画
- ◆太陽光発電、コージェネ、蓄電池および床や壁に森林資源（CLT約336t）を有効活用し、断熱性、遮炎性、遮音性を高めるなどにより、Nearly ZEBを達成し、平時の省エネルギー、温室効果ガス排出抑制を実現

②持続可能な社会のシンボルとしてBCP強化

- ◆大規模な太陽光発電、蓄電池を採用し、BCPの強化を図り、災害時も継続して生協組合員に商品・サービスの供給ができる本部機能を確立

主な導入設備

外皮断熱	外壁：フェノールフォーム断熱材 屋根：グラスウール断熱材 窓：Low-E複層ガラス（真空） 他：CLT、外部ブラインド、日射調整庇
空調	排熱投入型吸収冷温水機 GHP、ナイトパーシシステム
換気	全熱交換器
照明	LED照明（在室検知、明るさ検知、タイムスケジュール、タスク&アンビエント照明）
給湯	潜熱回収型給湯器
効率化設備	コージェネ 蓄電池（リチウムイオン）60kW
再エネ	太陽光発電256kW
その他	BEMS、V2Bシステム

主要ガス設備

◆高い省エネ性とBCP機能を両立する停電対応型コージェネ設備の導入

- 電気と熱を作るコージェネを導入し、平時は建物内への電力供給を行い、排熱は空調や給湯へ利用することで大幅な省エネを実現した。
- 有事の際は停電対応型コージェネ+太陽光+蓄電池による自家発電設備により、高いBCP機能を有する拠点施設となっている。



排熱投入型吸収冷温水機
633kW(633kW×1台)

GHP 258kW
(45kW×1台,71kW×3台)

コージェネ 75kW
(25kW×3台)